

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度 第4回金谷区地域協議会

## 2 報告（公開・非公開の別）

（1）令和3年度地域活動支援事業について（公開）

## 3 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」（公開）

## 4 開催日時

令和3年6月23日（水）午後6時00分から午後7時00分まで

## 5 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

## 6 傍聴人の数

0人

## 7 非公開の理由

—

## 8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）  
石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、神崎 淑、小林雅史、高橋敏光、  
高橋 誠、高宮宏一、土屋博幸、平良木美佐江、山本一男

- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

## 9 発言の内容

### 【五十嵐主任】

- ・ 現在、石川委員、神崎委員を除く12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は村田会長が務めることを報告

### 【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：土屋委員、高橋敏光委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

・資料により説明

【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

—次第3報告（1）令和3年度地域活動支援事業について—

【村田会長】

次第3報告（1）令和3年度地域活動支援事業について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

・資料No.1により説明

（石川委員が到着）

【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

以上で次第3報告（1）令和3年度地域活動支援事業についてを終了する。

—次第4議題（1）自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」—

【村田会長】

本年度春より、自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」の議論等を進めてきたところである。具体的には、防災士会の会長からの講話や防災講習用のDVD2本を視聴するなど、皆さんと一緒に勉強してきた。そこで、今後どのように進めていくか協議したいと思う。

実は金谷区以外に、各町内会とか自主防災組織が各々の防災強化力を高めるために、地域活動支援事業を活用して事業が実施されていることを聞いた。その事例について、事務局に説明を求める。

【五十嵐主任】

参考資料に基づき、他区の地域活動支援事業の事例を紹介。

**【村田会長】**

ただ今の事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【土屋委員】**

他区の3事案は、防災士会から提案されたものか、それとも町内会から提案されたものか。

**【五十嵐主任】**

町内会から提案された事業である。

**【村田会長】**

金谷区には、28町内会がある。これがまとまって地域活動支援事業に提案されると大変大きいスケールになるが、その中の一部が実施した場合であっても金谷区全体の防災機能強化になって広がっていくものと思っている。

**【小林委員】**

各町内の方から要望が出されている内容であり、おそらく、地域活動支援事業でなくても各町内でこういうことをやられているところも当然あると思う。その地区の特性というか、過去にも防災の資機材の購入や防災倉庫みたいなものを地域活動支援事業で購入されている町内もあった。

その事例は、我々が目指しているものと単純に一緒かどうか、判断するのは難しいと思う。そして和田区の事例にもあったように、今年実施される防災マニュアルの策定についてはコンサルタントの力を借りて、どのくらい新しい取り組みができるのか、注意深く見守っていきたいと思っている。

**【村田会長】**

この他に質問のある委員の発言を求めるがなし。

次に、これまでの議論について、小林委員から意見などを整理してもらった。その内容について小林委員から説明を願う。

**【小林委員】**

当日配布資料No.1に基づき説明。

これまで市の危機管理課や防災士会の方々からいろいろ話を聞いた。それから地域協議会委員にもいろいろな意見を出してもらった。その経過をできるだけわかりやすく、ポイントを本日の当日配布資料No.1にまとめた。

たまたま本日配布された上越市の「主要事業・プロジェクトの概要」の6頁に防災・防犯分野として、「地域防災力の充実・強化」という事業に取り組みられることが掲載されている。市では、防災ハザードマップの整備や防災アドバイザーの派遣、避難所運営訓練の実施、自主防災組織への経費補助、防災資機材の貸し出し等のアイテムをそろえている。また、防災士の育成を最大のポイントとしており、今年の3月1日のデータで、市には658人の防災士がいる中、この防災士が各地域の自主防災組織のリーダーとして活動し、市から提案、提供される様々なアイテムを使って、自主防災組織の活性化に取り組んでいく。これが市だけでなく、金谷区の地域防災力向上の一つの大きな流れであろうと理解している。

それから前回、DVDも見ていろいろな先進的な活動をされている地域の方々からも、住民の防災意識を高めることと自主防災組織自体の士気を高めることが最大のポイントであるといわれていた。やはり我々も同じところに行き着くのではないかと思う。そして住民の防災意識を高めていくことが最大のポイントであり、そういう活動を積み重ねることが、さらには、自主防災組織の士気の高まりに好影響を与えるのではないかと思う。

また、地域協議会の中では、町内、班、ご近所の繋がり。昼と夜での体制の差が大きいこと。金谷区の各地域で想定される災害はどのようなものか。昨今災害が少ない状況に慣れて安心してしまっているのではないか。避難所の装備をもっと充実させるべきではないか。避難所の安定した電源や通信環境の確保、さらに避難所を円滑に開設運営できるのだろうか。市の避難所の初動対応職員各3人、各種マニュアルが整備されている中、本当にマニュアル通りにしっかり行動が伴うのか。避難所を核とした各種訓練、町内会単独ではなく、関連する複数町内会の連携や広域化を考えてはどうか。避難をした各家庭に避難が終わりましたというような目印をつけるルールも好ましいのではないかなどという意見が出された。

先ほど村田会長からも、金谷区28町内は非常に広く、地域格差も大きいとあった。そのような中、金谷区全体で何か一つの行動を起こすことは、なかなかハードルも高いと思う。今は、いかにして住民の防災意識を高めていくかという観点で、各町内各地域、また我々地域協議会委員がいろいろな視点から、小さくても何か行動できることを積み重ねていって、そして良いことが生まれれば、横につなげてい

くしかないと考えている。

**【村田会長】**

小林委員の説明について、委員からの質疑を求めるがなし。

このテーマのハードルが高くどんな形で取りまとめていくか、正副会長としても大変悩ましいところであり、苦心をしているのが現状である。そこで1週間前に行った正副会長会議に小林委員からも同席してもらっていろいろ検討した。そこで、一つの具体策を考えたので本日、委員に提案する。

先程、事務局から他区の3つの事例が紹介された。それに繋がるような考え方になるが、例えばある地域、ある町内が、単一の町内ではなかなかやりえないことなど、具体的には避難訓練を実施しようと考えていた場合、合同で防災強化のために、町内会を超えて何か行いたいというところがあれば、或いはそういうモデル地区を作って、地域協議会委員もそこに参加して、防災機能の強化に取り組んではどうかと考えた。それは、小さな団体かもしれないが、それを実施することにより28町内会へ繋がっていく、すなわち裾野が広がっていくことになると思った。

そこで、地域協議会委員全員でそのモデル地区に取り組むことは難しいと思うので、例えば、3分の1の5人くらいを検討チームとして、そのモデル地区の選定、取り組み内容の検討を行い、具体化していったらどうかと考えた。そしてモデル地区を選定することができれば、防災力強化に必要なものは何か、何をすればいいのかという話し合いもできると思う。

委員の皆様には、そのような検討チームに参画してもよいという方の挙手をお願いしたい。もちろん、手を挙げることに困るという状況であれば、正副会長の方で協力してくれる委員を指名することにもなるかもしれない。まずは各委員の希望を聞いた上で、その検討チームを構成していきたい。

**【小林委員】**

参加させていただきたいと思う。

町内には防災士がいるところといないところもあるが、その町内の垣根を越えて、委員の皆さん、町内の役員の皆さん、また防災士さんが話し合っているところに我々委員も参加して、広く意見交換できる機会は非常に貴重だと思う。

**【村田会長】**

他に参加してもよいという方はいるか。

【高橋敏光委員】

各町内といっても金谷区はちょっと広くて、まとまりがつかないというのが現状である。金谷区で災害の一番多いのは何かを考えていかないといけないと思う。

例えば、河川の氾濫、大雨の時のがけ崩れの多い地域を調べてその辺でまとまるのか。ただ私の町内、平山もそうであるが、そんなに災害のある町内ではない。洪水になって大雨で水浸しになっても自主防災組織は動いていない。というのは、自主防災組織が動くのは、震度5弱からである。だから避難するとかしないとか、そういう動きについては、ただの水害だけでは全然動かない。では、どうするかというと町内会長または役員が担当の消防団へ電話をして、何とか排水をお願いしなければならないという考えで動いている。だから、防災の話はものすごく話が大きすぎると思う。4、5人集まってモデル地区もいいかもしれないが、規模によって全然違うのでなかなか難しいと思う。

上越市には、消防署の分遣所がある。この金谷区はこんなに広いのに分遣所がないのはおかしいというのが私の考えである。それから消防団員のなり手がいない。昔だと40、45歳以下で消防団が構成されていた。しかし今は、60歳過ぎて70歳になっても消防団に入っているというのが現実である。まず、我々の要望としては、金谷区に分遣所をつくってほしいというのが本音である。皆さんは、地震、洪水があったら大体消防団に連絡されると思う。消防団の人は、山崩れ、道路が寸断されたといって対応している。消防団が一番活躍していると思う。

我々町内でも自主防災組織をきちんと作っているが、それは大災害の地震が起きた時の話であって、本当の防災力強化となると、その辺からやっていかなければいけないと考えている。

市は、阪神淡路大震災から東日本大震災を参考に、災害が起きたら1割程度の人が避難してくるという考えである。市の考えが1割なら、町内も1割にするといった簡単な話になってしまい、訓練をしなくてもいいというおかしな話にもなってくる。それで正副会長と小林委員でいろいろ話をされてやってこられたので、そのまま進めてもらってもいいですが、私から言うと、市の考えがおかしいのではないかと考えている。

うちの町内では6月13日に防災、避難訓練を実施しているので、モデル地区には難しいと思っている。

(神崎委員が到着)

**【村田会長】**

根本的な金谷区の防災機能強化には、なかなか届かないかもしれないが、地域協議会委員ができ得ることは何か。それをまず具体的に検討する場合は5人ほどの人数の方が良いと思っている。

モデル地区の選定、事業の実施の際には、当然この全体会議に説明・報告しながら、委員全員に共有でき得るような方法で進めたいと思っている。いずれにせよ、この自主的審議事項について、今後進めていくには、この方法が一番具体的で近道かと考えているので理解してほしい。後程、正副会長、小林委員を含めて、協力可能な委員に依頼したいと思う。

**【堀川センター長】**

会長の説明を補足する。

実際にこの検討チームで何をするかという、どんな災害をパターンにしてやっていくか、どこの地区をモデル地区とするか、金谷区には3人の防災士がいるので、その方からも話し合いに加わってもらって、実際に実施する町内の方との打ち合わせを検討チームの方が主になって具体的に検討してもらうことを考えている。

それはこの委員全員で話し合ってもなかなか進まないと思われるので、そこら辺の下準備から実際の行動に至るところまで、検討チームの方々に詰めてもらって、その結果を逐次、またこの全体の会議で報告をして意見をもらう。そして修正するなら修正していく。そんなスタイルで、この自主的審議を進めていったらどうかというのが説明された中身である。

**【村田会長】**

ただいま説明したことで進めて良いかを委員に諮り、了承を得る。

以上で、次第4議題(1)自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」を終了する。

【村田会長】

次第5 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・次回会議：8月18日（水）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・内容（予定）：地域活動支援事業（追加募集分）の審査・採択について
- ・金谷区地域協議会だより第46号（6月25日発行）
- ・「主要事業プロジェクトの概要」及び掲載事業の追加分
- ・男女共同参画推進センターより講座のお知らせ（2種類）

【村田会長】

ただ今の説明に質問のある委員の発言を求めるがなし。

この他、全体を通じて意見のある委員の発言を求める。

【土屋委員】

滝寺の石碑の件で陳情書を出したとのことだが、それは市の担当課に出したのか。

【五十嵐主任】

市の担当課の方に提出したと聞いている。

その経過として、他の2つの砦については、市が設置したことがわかったため、その担当課に提出されている。

【村田会長】

他に質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他



別添の会議資料もあわせてご覧ください。